



空き家を地域のために活用してほしい所有者を募集！ ～借りたい人の想いを家主につなぐ「恋文不動産」～

本市では令和4年度から、空き家を活用し、地域課題の解決や魅力の創出につなげることを目指すプロジェクト「恋文不動産」に取り組んでいます。

市には、空き家を使って「想い」を実現したいという利活用希望者からの問合せが多く寄せられています。そのため、社会的な活動のためであれば、空き家を安価で貸してもよいという物件所有者を募集し、双方の想いをつなぎ、空き家の活用につなげます。

詳しくはこちら▶



■物件所有者募集の概要

- ◇対象者 生駒市内に空き家を持ち、安価で地域活用してほしい人
- ◇申込み 6月30日（日）までに、市ホームページの申込フォームで住宅課
- ◇注意 ・具体的な賃貸・売却の金額や活用条件などは、所有者の意向を優先します。
・応募多数の場合、ヒアリングを実施した上で抽選となります。

■プロジェクトの流れ（予定）

① 物件所有者の募集（6月） ← 今回の募集

- ② 市が物件所有者に活用条件や意向等をヒアリング（7月）
- ③ 物件情報を公表し、物件見学会の参加者を募集（8月～9月）
- ④ 家主と話せる物件見学会※を開催し、活用希望者から活用プランを募集（9月～10月）
- ⑤ エントリーの中から、家主が活用候補者を決定（10月～11月）
- ⑥ 活用候補者は活用プランをブラッシュアップ（11月～12月）

※昨年度は、各活用候補者が週替わりで活用プランの一部を披露する「プレ出店イベント」も開催

- ⑦ 家主に想いを伝えるマッチングパーティーを開催し、活用者を決定（令和7年1月～2月）
- ⑧ 賃貸借（売買）契約を締結し、活用プランの実現に向けて始動（3月～）

※昨年度の物件見学会の様子は、Webメディア「greenz（グリーンズ）」

[\(https://greenz.jp/2023/10/27/koibumi_hudosan/\)](https://greenz.jp/2023/10/27/koibumi_hudosan/)で紹介しています。



■プロジェクト開始の背景

本市の空き家所有者アンケート等から、「社会的な活動のためであれば、空き家を安価に貸し出してもよい」という意向を持つ所有者が一定数いることが分かりましたが、自己管理し続けていることが多く、市場に物件が出回りづらい状況です。一方で、市には、多世代が集まる場づくりや地域食堂など、社会的な活動のために安価に使える空き家を探している NPO 法人や個人事業主等からの問合せも多く寄せられていることから、双方をマッチングするプロジェクトを立ち上げました。

■（参考）昨年度のマッチング事例

昨年度は、「地域を元気にしてほしい」「新しいチャレンジを応援したい」という想いを持つ家主から、2つの物件が集まりました。そのうち、かつては鉄工所として栄えた、築80年を超える小瀬町の物件に対して5組から活用プランの提案があり、令和6年1月のマッチングパーティーで活用者が決定。現在、プラン実現に向けて準備が進んでいます。

1 物件の概要

「旧街道沿いに佇む築80年超えの平屋」

- ・ 建築年：昭和15年頃
- ・ 構造：木造瓦葺平屋建て（一部鉄筋コンクリート造の部分あり）
- ・ 延床面積：約200㎡、敷地面積：約380㎡
- ・ 所在地：小瀬町（南生駒駅から徒歩3分）



2 活用プランの概要

「旅人も地元の人も集うゲストハウス」

飲食店やレンタルスペースを併設し、宿泊者だけでなく、地元の人との交流の場となることを目指します。

当該物件は、大阪から暗峠を越えて平城京に至る「暗越奈良街道」沿いに位置しており、小瀬町はかつて宿場町として栄えました。

こうした歴史のある場所に、時を経て新たな宿泊施設が誕生します（令和7年4月頃オープン予定）。



この件に関する報道関係からのお問い合わせ
生駒市住宅課（課長 井上） ☎0743-74-1111(内線 3350)